

「特別の教科 道徳」の実施に向けて

- ※この資料は、平成30年1月12日に行われた「道徳教育パワーアップ協議会」において配付された資料を基に作成しています。
- ※「特別の教科 道徳」と「道徳科」は、同じことを指しています。

秋田県教育庁南教育事務所

「特別の教科 道徳」の実施に向けて

1 指導計画の作成

- (1) 道徳科の目標を実現するための道徳教育の全体計画及びその別葉、道徳科の年間指導計画の概要
- (2) 具体的な作成の手順、工夫

2 道徳科における評価

- (1) 評価の意義、基本的態度
- (2) 評価の在り方、視点、工夫

1 指導計画の作成

道徳科の目標

第1章総則の第1の2の(2)に示す道徳教育の目標に基づき、**よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため**、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を(広い視野から)多面的・多角的に考え、自己の(人間としての)生き方についての考えを深める学習を通して、**道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。**

※中学校においては、()内の表現を加えて読む。

道徳教育の全体計画

道徳教育の全体計画は、学校における道徳教育の基本的な方針を示すとともに、学校の教育活動全体を通して、道徳教育の目標を達成するための方策を総合的に示した教育計画

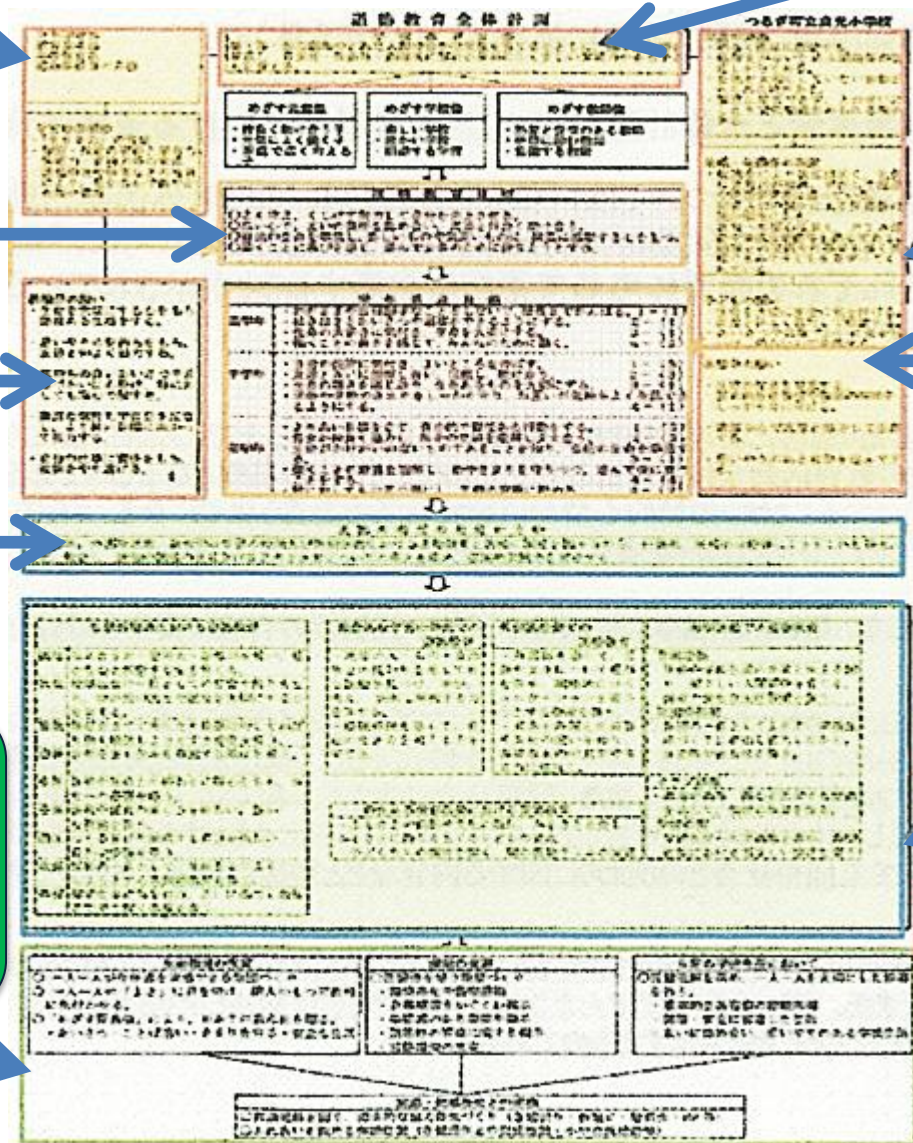
道徳教育の全体計画の作成に当たっては、児童や学校、地域の実態を考慮して、学校の道徳教育の重点目標を設定するとともに、道徳科の指導方針、第3章特別の教科道徳の第2に示す内容との関連を踏まえた各教科、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動における指導の**内容及び時期並びに家庭や地域社会との連携の方法**を示すこと。

※中学校においては「児童」を「生徒」と読み替える。(以下のページ同様)

※下線部は、小学校のみの表記

<小、中学校学習指導要領（平成29年3月）第1章 総則 第6の1の後段>

道徳教育の全体計画(例)



法的根拠

学校の教育目標

道徳教育の重点目標

地域・保護者、
子どもの願い・実態

教職員の願い

各学年の重点目標

道徳科の
指導方針

各教科、外国語活動、
総合的な学習の時間、
特別活動における指
導の方針

生徒指導、特色ある
教育活動、豊かな体
験活動、環境整備、
家庭・地域との連携
における指導の方針

指導の内容・時期

別葉で

道徳教育全体計画の別葉

全体計画を一覧表にして示す場合は、必要な各事項について文章化したり具体化したりしたものを加えるなどの工夫が望まれる。例えば、各教科等における道徳教育に関わる指導の内容及び時期を整理したもの、道徳教育に関わる体験活動や実践活動の時期等が一覧できるもの、道徳教育の推進体制や家庭や地域社会等との連携のための活動等が分かるものを別葉にして加えるなどして、年間を通して具体的に活用しやすいものとするのが考えられる。

道徳教育の全体計画 別葉(例)

各教科等

内容項目

単元	道徳	社会	理科	国語
1-01 基本的な生活習慣		生活を取り巻く工業製品・工業製品とのかけわりから自分たちの生活を見直す。	9月	がいばの計画 買い物で安全の危しきつげ まどを過して生活を振り返る。
1-02 希望・勇気・努力				小段のかけ話とわりは 小段の希望について振り返る。
1-03 自由・自信				
1-04 正直誠実・説明	大崎じいさんとガン きんぐのガンに対する姿勢から誠実さについて考える。	3月		
1-05 興味・創造意欲	工夫して発想しよう 自分が伝えたいことを発想する上で工夫することの大切さを考える。	10月	新だいのさいばい 食料生産の現状、向上に努める人々の工夫に学ぶ。	5月 小段の歴史 ジーン・スタビンの工夫を学ぶ。
1-06 個性伸張	調査の調査レポート 自分らしさを活かして調べたいことを整理して書く。	6月	町工場探訪 自分らしさを活かして調べたいことを整理して書く。	9月 タンゴラム 正力元や河を切り取った地形を切り取り自分らしき形をつくる。
2-01 礼儀	敬語の使い方を通して礼儀の大切さを考える。	4月	自動車工場をたずねて 工場の人々に対する質問の仕方、話し方などを考える。	
2-02 親切	むらさみの中の仲間 自他人間の優しさや思いに触れ、思いやりの心を考える。	8月	橋を築こう 相手の立場に立って他人情の大切さを考える。	
2-03 友情	新しい仲間 自他人間の心算を通して友情を育む。	8月		10月 「内閣の閣議」の学級 友達と協力して家づくりの仕方 を学ぶ。
2-04 謙虚・寛容	「失敗」をめぐって 目的に向かって話し合う中で互いの意見を尊重する。	1月		11月 ものをたけかた 友達同士で協力し、食料の 形作りを調べる。
3-01 尊敬・感謝	おどいの手紙、お礼の手紙 感謝の気持ちを込めて手紙を書く。	5月	米づくり農家の一歩 育種年報に書く人々の苦労に 触れ感謝の気持ちをもち つ。	
3-02 生命尊重	ニュース番組作りの現場から 旅行文を通して生命の大切さについて考える。	12月		命のたんじょう メダカの卵を育てて生命 を感じてみる。
3-03 自然愛	セクラソワとトツマツバハ 旅行文を通して自然の不思議さ を感じて考える。	5月	ひまわりを自然とくらし 自然環境を生かして生きる 人々の環境に対する思い を学ぶ。	12月 咲くおれんじ 自然環境の割合を調べ環境保 護の大切さを考える。
3-04 慣けん	神を祀るお祭り 自然や神の美しさを試み 楽しむ。	6月	わたしたちの生活と森林 自分たちの生活にかかわる 木の働きを学び自然の恵み を学ぶ。	
4-01 納税・公徳心・権利義務	ごみ問題を通して納税に 関わり公徳心について考える。	9月	よみがえる水 環境問題を学ぶことを通して 権利と義務を学ぶ。	
4-02 公正公平・正義				

単元等

年間指導計画

年間指導計画は、道徳科の指導が、道徳教育の全体計画に基づき、（各教科等の年間指導計画との関連をもちながら、）児童の発達段階に即して計画的、発展的に行われるように組織された全学年にわたる年間の指導計画である。具体的には、道徳科において指導しようとする内容について、（学校独自の重点内容項目や）児童の実態や多様な指導方法等を考慮して、学年段階に応じた（学年ごとに）主題を構成し、この主題を年間にわたって適切に位置付け、配列し、学習指導過程等を示すなど、授業を円滑に行うことができるようにするの（示したもの）である。

※中学校においては、（ ）内の表現を加えたり、下線部を（ ）内の表現と置き換えたりして読む。

道徳科の年間指導計画(例)

学年の基本方針

回・月・週

主題名

内容項目

教材名・出典

ねらい

学習指導過程

他の教育活動との関連

主題構成の理由

第三学年 年間指導計画		1	2	3	4	5	6
学年の基本方針	『道徳科の目標』に基づき、児童の生活態度の向上を図るとともに、道徳的価値観の確立を図る。						
主題名	1	2	3	4	5	6	7
内容項目	1	2	3	4	5	6	7
教材名・出典	1	2	3	4	5	6	7
ねらい	1	2	3	4	5	6	7
学習指導過程	1. 児童の生活に関することについて話し合う。 2. 資料「旅行に行く」を読み、話し合う。 3. などりと社会科見学の際、道徳的価値観について話し合う。 4. などりと社会科見学の際、道徳的価値観について話し合う。 5. などりと社会科見学の際、道徳的価値観について話し合う。 6. などりと社会科見学の際、道徳的価値観について話し合う。 7. などりと社会科見学の際、道徳的価値観について話し合う。						
他の教育活動との関連	道徳科の学習と関連させ、総合的な学習の時間、課外活動、行事等に活用する。						
回	1	2	3	4	5	6	7
主題名	1	2	3	4	5	6	7
内容項目	1	2	3	4	5	6	7
教材名・出典	1	2	3	4	5	6	7
ねらい	1	2	3	4	5	6	7
学習指導過程	1. 児童の生活に関することについて話し合う。 2. 資料「旅行に行く」を読み、話し合う。 3. などりと社会科見学の際、道徳的価値観について話し合う。 4. などりと社会科見学の際、道徳的価値観について話し合う。 5. などりと社会科見学の際、道徳的価値観について話し合う。 6. などりと社会科見学の際、道徳的価値観について話し合う。 7. などりと社会科見学の際、道徳的価値観について話し合う。						
他の教育活動との関連	道徳科の学習と関連させ、総合的な学習の時間、課外活動、行事等に活用する。						

自校の 道徳教育推進上の 課題は何か



自校の道徳教育をチェック

全教育活動を通じて行う道徳教育での指導が
できているか。

週1回の道徳科(道徳の時間)の授業が確実に
行われ、機能しているか。

子どもたちのよさを認め、励ます評価ができて
いるか。

道徳教育を充実させるには

学校が主体的に子どもや地域の実態など様々な事項を的確に把握し、育てたい子ども像を明確にして目標を設定し、計画を立て、教職員が共通理解、共通実践できるようにする。



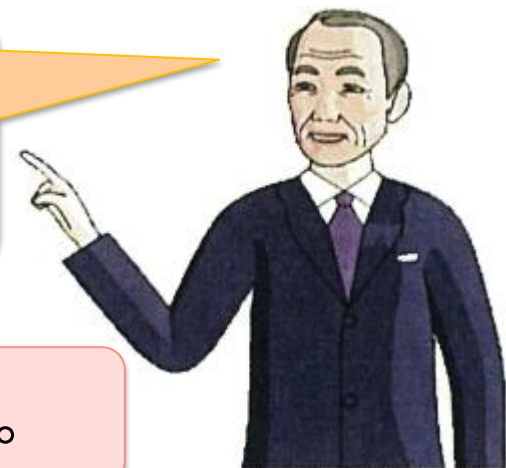
学校の教育目標の具現化

学校の教育目標の具現化を図るためにも、子どもの実態と、保護者や地域の人々の願い、教職員の願い等を踏まえて、全教育活動を通して**目指す子どもの姿**をより具体的に設定する。

校長の方針

- ◆ 笑顔であいさつができ、約束や決まりが守れる子
- ◆ 思いやりの気持ちをもって、みんなと仲良くできる子
- ◆ 夢や目標に向かって、粘り強く努力できる子

学校の教育目標の具現化を図るためにも、全教育活動を、この目指す子ども像と関連させて取り組んで行きましょう。



校長先生



これが校長先生の方針ですね。

道徳教育推進教師

全教育活動を通じて行う道徳教育

◆ 笑顔であいさつができ、約束や決まりが守れる子

◆ 思いやりの気持ちをもって、みんなと仲良くできる子

◆ 夢や目標に向かって、粘り強く努力できる子

これらの子ども像に関連の深い内容項目を洗い出してみましょう。

【教職員による、道徳教育推進のための協議の例】

全ての学期に必ず一度は、これらの内容項目に関連する授業を行うことにしませんか。

道徳科の授業以外でも、この内容項目に関わりがある教科や行事などがありますよ。各学年ごとに洗い出してみましょう。



指導計画の作成

道徳教育の全体計画の別葉の作成

内容項目に関わる教育活動が一目で分かる計画を作成して、よく目にするところに掲示しておくこと、**道徳科の授業と他の教育活動との関連**を図りながら効果的に子どもたちの道徳性を養うことができそうね。

道徳科の年間指導計画の作成

学校の重点内容項目の配列を工夫して、重点的に指導していくことにしよう。
年間指導計画の主題の配列も工夫することにしよう。



全体計画の別葉の作成例

◆笑顔であいさつができ、約束や決まりが守れる子

重点内容項目[B 礼儀][C 規則の尊重]

【小学校第4学年の例】

内容項目	国語	算数	...	学校行事	...
...		
礼儀	お願いやお礼の手紙を書こう			入学式(4月) 卒業式(3月)	
...		
規則の尊重	図書館へ行こう	角の大きさ		運動会(5月) 校外学習(9月)	
...		

全体計画の別葉の作成例

◆笑顔であいさつができ、約束や決まりが守れる子

重点内容項目[B 礼儀] [C 規則の尊重]

【小学校第4学年の例】

内容項目	国語
...	
礼儀	お願いやお手紙を書こ
...	
規則の尊重	図書館

重点内容項目から全体計画の別葉を作成しました。

例えば、目指す子ども像が「笑顔であいさつができ、約束や決まりが守れる子」であれば、内容項目の [B 礼儀] [C 規則の尊重] が関わるので、これを学校の重点内容項目としました。

縦軸に内容項目、横軸に教科等、学校行事を入れ、各教科等、学校行事が重点内容項目とどのように関わるのかを示しています。



年間指導計画の作成例

◆ 笑顔であいさつができ、約束や決まりが守れる子

重点内容項目[B 礼儀][C 規則の尊重]

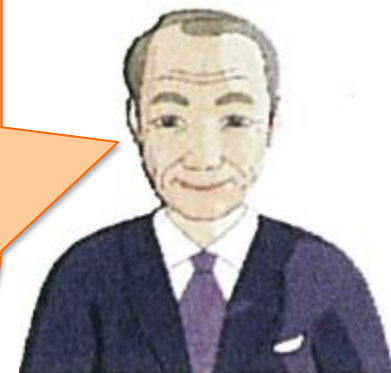
【全学年】

目指す子ども像が「笑顔であいさつができ、約束や決まりが守れる子」であれば、道徳科の授業を要として、特に1学期に重点的に取り組むことにしましょう。



先生方も、1学期は「**礼儀**」や「**規則の尊重**」を意識して、指導に当たしましょう。

私の全校朝会の講話でも、**あいさつ**や**きまり**の大切さについて話をすることにしよう。



指導計画作成上の配慮事項

各学校においては、道徳教育の全体計画に基づき、各教科、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動との関連を考慮しながら、道徳科の年間指導計画を作成するものとする。なお、作成に当たっては、**第2に示す各学年段階の内容項目について、相当する各学年において全て取り上げることとする。**その際、児童や学校の実態に応じ、2（中学校は、3）学年間を見通した重点的な指導や内容項目間の関連を密にした指導、一つの内容項目を複数の時間で扱う指導を取り入れるなどの工夫を行うものとする。

※下線部は、小学校のみの表記

内容項目の配当時間数の工夫例

◆ 笑顔であいさつができ、約束や決まりが守れる子

重点内容項目[B 礼儀][C 規則の尊重]

視点	内容項目	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
A
	真理の探究	1	1	1	1	1	1
B	親切、思いやり	3	3	3	2	2	2
	感謝	2	1	1	1	1	2
	礼儀	3	2	3	2	3	2
	友情、信頼	2	2	1	2	1	2
	相互理解、寛容	1	1	1	2	2	2
C	規則の尊重	3	3	3	3	3	3

合計		34	35	35	35	35	35

内容項目の配当時間数の工夫例

◆笑顔であいさつができ、約束や決まりが守れる子

重点内容項目[B 礼儀][C 規則の尊重]

視点	内容項目	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
A	...						
	真理の探究						
B	親切、思いやり						
	感謝						
	礼儀						
	友情、信頼						
	相互理解						
C	規則						
	合計						



小学校においては、各学年の授業時間の合計は第1学年が34時間、他の学年は35時間です。各学年において、全ての内容項目を必ず学習しなければなりません。

しかし、内容項目数は19～22項目ですから、差の時間は、学校の重点内容項目を扱う時間とし、時間数を増やし、工夫して配当することができます。

そこで、[B 礼儀]を低学年、中学年、高学年において5時間ずつ、[C 規則の尊重]を全ての学年において3時間ずつ学習する、というように配当時間数を工夫しました。

主題配列の工夫例

◆ 笑顔であいさつができ、約束や決まりが守れる子

重点内容項目[B 礼儀][C 規則の尊重]

学期	月	週	回	主題名	内容項目	教材名 〈教科書以外の出典〉	備考
1 学期	4 月	1	1	1日の始まり	B 礼儀	〇〇〇〇〇	
		2	2	安全な生活	A 節度、節制	〇〇〇〇〇	
		3	3	きまりは何のために	C 規則の尊重	〇〇〇〇〇	
	5 月	1	4	権利と義務	C 規則の尊重	〇〇〇〇〇 〈〇県 郷土資料集〉	
		2	5	自他の生命の尊重	D 生命の尊さ	〇〇〇〇〇 〈「私たちの道徳」文科省〉	
		3	6	まごころの形	B 礼儀	〇〇〇〇〇	
		4	7	長所と短所	A 個性の伸長	〇〇〇〇〇	

主題配列の工夫例

◆笑顔であいさつができ、約束や決まりが守れる子

重点内容項目[B 礼儀][C 規則の尊重]

学期	月	週	回	主題名	内容項目	教材名 〈教科書以外の出典〉	備考
1 学期	4 月	1	1	1日の始まり	B 礼儀	〇〇〇〇〇	
		2	2	安全な生活	A 節度、節制	〇〇〇〇〇	
		3	3	きまりは何のために	C 規則の尊重	〇〇〇〇〇	
		1	4	権利と義務	C 規則の尊重	〇〇〇〇〇 〈〇県 郷土資料集〉	



実際に配列していく際、例えば、[B 礼儀]の学習は、年度の早い時期、1学期の4月と5月に1回ずつ、あまり間隔を置かずに行うことにし、[C 規則の尊重]の学習は2週連続して行う、というように主題の配列を工夫しました。

主題配列の工夫例

◆ 笑顔であいさつができ、約束や決まりが守れる子

重点内容項目 [B 礼儀] [C 規則の尊重]

学期	月	週	回	主題名	内容項目	教材名 〈教科書以外の出典〉	備考
1 学	4 月	1	1	1日の始まり	B 礼儀	〇〇〇〇〇	
		2	2	安全な生活	A 節度、節制	〇〇〇〇〇	
		3	3	きまりは何のために	C 規則の尊重	〇〇〇〇〇	
	1	1	1	1日の始まり	C 規則の尊重	〇〇〇〇〇 〈〇県 郷土資料集〉	
					〇〇〇〇〇 〈「私たちの道徳」文科省〉		
					〇〇〇〇〇		
					〇〇〇〇〇		

検定教科書が採択されていますので、主にこれを使うことが前提ですが、子どもたちの実態等に応じて、地域教材や、これまで活用してきた教材を補助教材として取り入れています。



補助教材使用時の留意点

教科用図書以外の教材を選定する場合には、児童の発達段階に即し、ねらいを達成するのにふさわしいものであり、多様な見方や考え方で深く考えることができるものなど、児童の道徳性を養うという観点から考えて、**より大きな効果を期待できるという判断**を前提として検討することが重要である。

補助教材を使用することにより、**指導する内容項目に漏れがないかを確認**する必要がある。

家庭や地域社会との連携の例



	目指す子ども像の重点	重点内容項目	家庭や地域社会との連携
1学期	笑顔であいさつができ、約束やきまりが守れる子	B礼儀 C規則の尊重	子どもと地域のあいさつ運動 交通安全指導 等
2学期	思いやりの気持ちをもって、みんなと仲良くできる子	B親切、思いやり Cよりよい学校生活、 集団生活の充実	地域の敬老会への参加 福祉施設訪問 道徳の授業公開 等
3学期	夢や目標に向かって、粘り強く努力できる子	A希望と勇気、努力と強い意志 Dよりよく生きる喜び	職業体験 夢を語る発表会 等



積極的な情報発信による
「**社会に開かれた教育課程**」の実現



2 道徳科における評価

道徳教育における評価の意義

教師

教師が指導の目的や計画、指導方法の改善・充実に取り組むための資料となるもの

児童生徒

自らの成長を実感し、意欲の向上につなげていくもの

指導に生かされ、**児童生徒の成長につながる**評価でなくてはならない。

指導と評価の一体化

評価の意義

児童のよい点や進歩の状況などを積極的に評価し、学習したことの意義や価値を実感できるようにすること。また、各教科等の目標の実現に向けた学習状況を把握する観点から、単元や題材など内容や時間のまとまりを見通しながら評価の場面や方法を工夫して、学習の過程や成果を評価し、指導の改善や学習意欲の向上を図り、資質・能力の育成に生かすようにすること。

評価の意義

創意工夫の中で学習評価の**妥当性**や**信頼性**が高められるよう、**組織的かつ計画的な取組を推進**するとともに、学年や学校段階を越えて児童の学習の成果が円滑に継続されるように工夫すること。

<小、中学校学習指導要領（平成29年3月）第1章 総則 第3の2の(2)>

道徳科の評価の基本的態度

道徳科は、道徳教育の目標に基づき、各教科、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動における道徳教育と密接な関連を図りながら、計画的、発展的な指導によって**道徳性を養うことがねらい**である。

※下線部は、小学校のみの表記

道徳性とは、人間としてよりよく生きようとする人格的特性であり道徳的判断力、道徳的心情、道徳的実践意欲及び態度を諸様相とする内面的資質である。このような道徳性が養われたか否かは、**容易に判断できるものではない**。

しかし、道徳性を養うことを学習活動として行う道徳科の指導では、その**学習状況**や**成長の様子**を適切に把握し**評価することが求められる**。

これまで行ってきた道徳教育の評価

評価の公的な文書である「指導要録」の場合

行動の記録

- ◇基本的な生活習慣
- ◇健康・体力の向上
- ◇自主・自律
- ◇責任感
- ◇創意工夫
- ◇思いやり・協力…

十分満足できる状況にあると判断される場合に○印を付ける評価

総合所見及び指導上参考となる諸事情

児童生徒の成長の状況を総合的に捉え、記述する評価

教育活動全体で見られた
児童生徒の道徳的な行為の評価

新たに加わる道徳科の評価

道徳科の授業で見取る児童生徒の評価

児童の**学習状況**や**道徳性に係る成長の様子**を**継続的に把握し**、**指導に生かすように努める必要がある**。ただし、**数値などによる評価は行わないものとする**。

道徳教育と道徳科の評価

評価の公的な文書である「指導要録」の場合

道徳教育

教育活動全体で見られた
児童生徒の道徳的な行為

行動の記録

総合所見及び指導上参考となる諸事情

道徳科

児童生徒の学習状況及び
道徳性に係る成長の様子

新たな枠

道徳科の評価の在り方

- ・ 数値による評価ではなく、**記述式**とすること
- ・ 個々の内容項目ごとではなく、**大きくくりなまとまり**を踏まえた評価とすること
- ・ 他の児童生徒との比較による評価ではなく、児童生徒がいかに成長したかを積極的に受け止めて認め、励ます**個人内評価**として行うこと
- ・ 学習活動において児童生徒がより**多面的・多角的な見方へと発展しているか、道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているか**といった点を重視すること
- ・ 発達障害等のある児童生徒が抱える**学習上の困難さ**の状況等を踏まえた指導及び評価上の配慮を行うこと
- ・ **調査書に記載せず**、入学者選抜の合否判定に活用することのないようにすること

道徳科の授業における児童生徒の評価の**視点**

授業では、児童生徒の
何を見取るべきなのか

道徳科の本時のねらいとの関わり

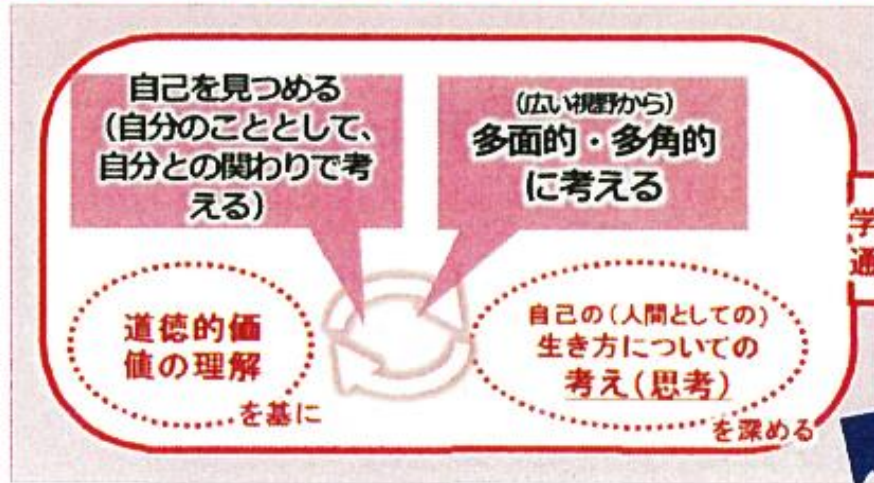
道徳科の学習活動と評価のイメージ

- 道徳性が養われたか否かは容易に判断することができるものではない。しかし、道徳性を養うことを学習活動として行う道徳科の指導では、その学習状況を適切に把握し評価することが求められる。
- 道徳科の授業では、特定の価値観を児童生徒に押しつけたり、指示通りに主体性を持たずに言われるままに行動するよう指導したりするものであってはならない。内容項目を手掛かりとして「考える」ことを通じて、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考える学習を行うことによって、道徳性を養うことができるもの。
- このため、道徳科の学習の中で、特に「自己を見つめ、自分の考えを多面的・多角的に考えようとしているか」といったことに着目することで、道徳科の学習状況を適切に把握し評価することが必要である。

道徳科で道徳性を評価するのは困難

道徳科の評価は道徳的行為の評価ではない

道徳性を養うために行う道徳科における学習



自立した人間として他者と共によりよく生きる実践(行為・表現など)

学習状況を評価

積極的に受け止めて認め、励ます個人内評価として行う道徳科の「学習状況及び道徳性に係る成長の記録」

児童生徒の具体的な行動に関する「行動の記録」

注)道徳科の学習活動を中心にイメージ図としたものであり、これ以外にも道徳性を養う過程は様々なものが考えられる。

道徳科の授業における児童生徒の評価の視点

道徳的諸価値の理解に基づく

- ・ 児童生徒がより多面的・多角的な見方へと発展しているか。
- ・ 道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているか。

自己の(人間としての)生き方について考えを深める

これらの点を重視し、道徳科の学習活動に着目して評価する。

- ・ ねらいとする道徳的価値について、道徳的な判断力等の諸様相が育っているか。

評価するのは困難

- ・ ねらいとする道徳的価値が理解できたか。

理解させることを目的として評価する他の教科とは異なる。

□ 一面的な見方から多面的・多角的な見方へと 発展させているかどうか

- 道徳的価値に関わる問題に対する判断の根拠やそのときの心情を様々な視点から捉え考えようとしている
- 自分と違う立場や感じ方、考え方を理解しようとしている
- 複数の道徳的価値の対立が生じる場面において取り得る行動を多面的・多角的に考えようとしている

など

□道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているかどうか

- 読み物教材の登場人物を自分に置き換えて考え、自分なりに具体的にイメージして理解しようとしている
 - 現在の自分自身を振り返り、自らの行動や考えを見直していることがうかがえる部分に着目している
 - 道徳的な問題に対して自己の取り得る行動と他者と議論する中で、道徳的価値の理解を更に深めている
 - 道徳的価値を実現することの難しさを自分のこととして捉え、考えようとしている
- など

道徳科の授業における児童生徒の評価の**視点**

授業では、













どのように児童生徒を

見取るべきなのか

成長を受け止めて認め、励ます

道徳科における評価の例

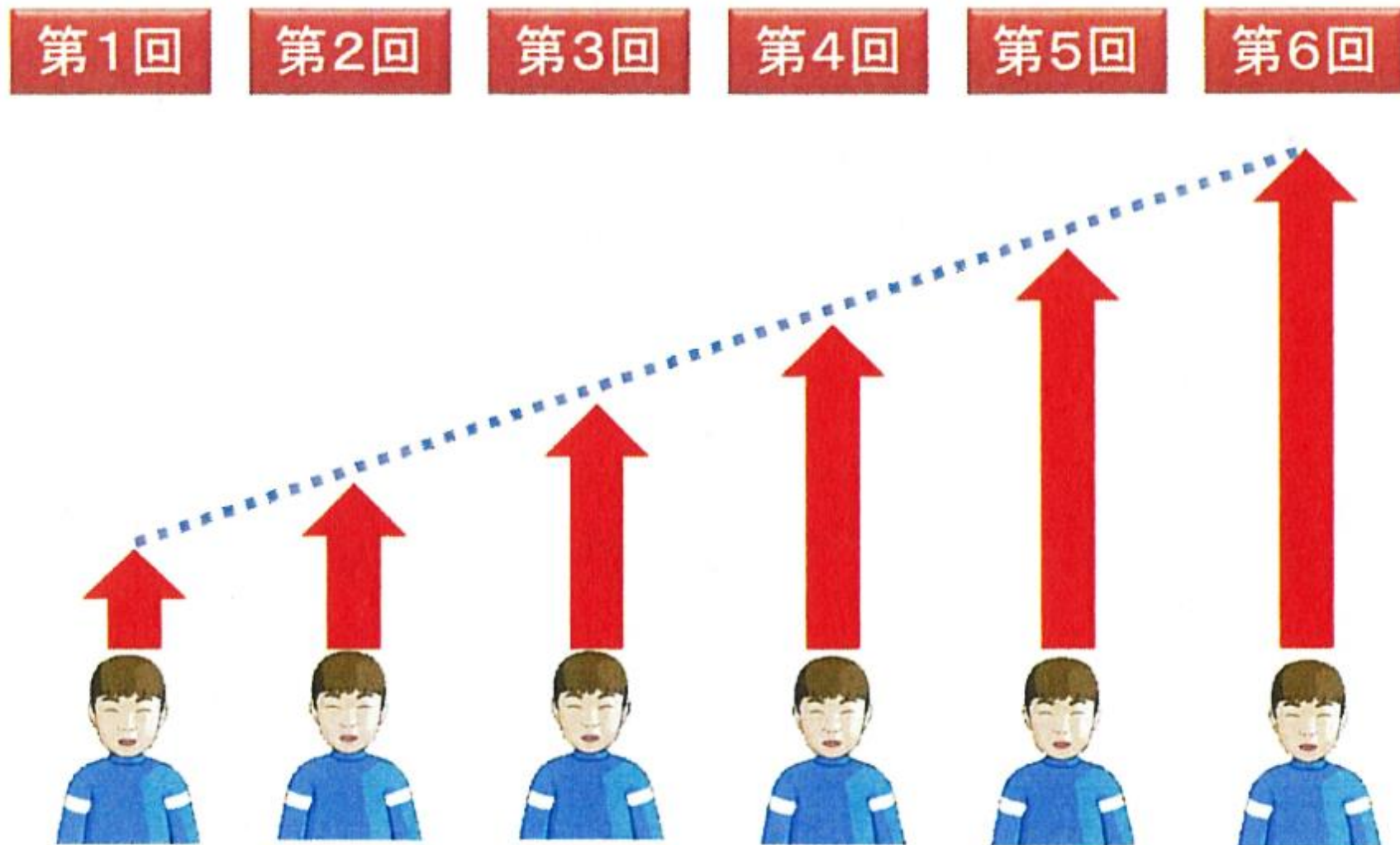
学習状況や道徳性に係る成長の様子を継続的に把握

第1回 	第2回 	第3回 	第4回 
第5回 	第6回 	第7回 	第8回 
第9回 	第10回 	第11回 	第12回 

個人の目標に向けた学習状況ごとに横並びにして、
突出したところをよさと認める

道徳科における評価の例

学習状況や道徳性に係る成長の様子を継続的に把握



学習状況を時間的に縦に並べて、**進歩の状況**を認める

評価のための具体的な工夫例

- ・ 児童生徒の学習の過程や成果などの記録を計画的にファイルに蓄積したもの
- ・ 児童生徒が道徳性を養っていく過程での児童生徒自身のエピソードを累積したもの
- ・ 作文やレポート、スピーチやプレゼンテーションなど具体的な学習の過程
- ・ 児童生徒が行う自己評価や相互評価 等

組織的、計画的な評価の推進例

- ・ 学年ごとに評価のために集める資料や評価方法等を明確にしておく
- ・ 評価結果について教師間で検討し評価の視点などについて共通理解を図ること
- ・ 評価に関する実践事例を蓄積し共有すること

妥当性

信頼性

自信

負担感軽減

これから特に配慮すべきこと

□ 一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展させている

□ 道徳的価値の理解を自分自身との関わり中で深めている

このような児童生徒の評価ができる**道徳科の学習**をしっかりと行っていかなければならない。

道徳的諸価値の理解を基に、自己を見つめ、物事を（広い視野から）多面的・多角的に考え、自己の（人間としての）生き方についての考えを深める**学習**

指導は、子どもが自らのよさや成長を実感できるようにするもの

評価は、子どもの成長を願って行われるもの

子どもにとって
心の成長につながる
いちばんの評価は

信頼できる先生に認められること